

平成 27 年 4 月 1 日

報道各位

住友不動産株式会社

日本橋交差点角、駅直結の新ランドマーク 「東京日本橋タワー」本日竣工

日本橋エリアのさらなる活性化と防災機能拡充の一翼を担い、
東京の国際的地位向上、都市再生への貢献を図るビッグプロジェクト

住友不動産株式会社（本社：東京都新宿区西新宿 2-4-1、代表取締役社長：仁島浩順）は、交通の要衝日本橋交差点角というシンボリックな立地に、大同生命保険株式会社をはじめとした複数の共同事業者と大規模複合開発「日本橋二丁目地区北地区」計画を推進しておりますが、本日、事業の中核となる超高層免震タワー「東京日本橋タワー」（地上 35 階建て、高さ 180m）が竣工いたしましたのでお知らせします。

エリアの新たなランドマークとなる「東京日本橋タワー」は、地下鉄「日本橋」駅直結、「東京」駅八重洲北口徒歩 6 分という優れた交通利便性を誇るとともに、地震時の揺れを軽減する免震構造や停電リスクを回避する非常用発電機など、BCP（事業継続計画）対応を強化した最先端のスペックを備えており、災害時には「日本橋」駅前の地域防災拠点としても機能します。



<「東京日本橋タワー」と周辺エリア>

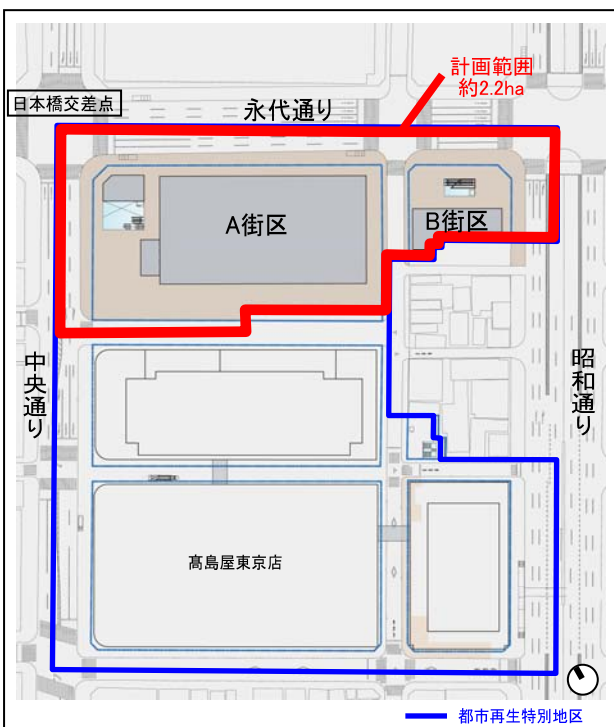
◆ 都市再生への貢献

「日本橋二丁目地区北地区」計画は、業務×商業×多目的ホールなどで構成される延床面積 13 万 8 千㎡（約 4 万 2 千坪）のビッグプロジェクトです。平成 23 年 12 月に都市計画決定された都市再生特別地区（日本橋二丁目地区）に指定されており、永代通りと中央通り、昭和通りに囲まれた区域面積約 2.2ha、合計敷地面積約 8,800 ㎡の A、B 2 つの街区で形成されています。

都市計画では、3 路線が乗入れ、羽田・成田両空港にも直結する地下鉄「日本橋」駅を中心に交通基盤を拡充するとともに、多様な機能を導入し防災機能を強化することで、平常時のみならず万一の災害発生時にも日本橋の拠点となり、都市再生への貢献を図ることが謳われています。

建物竣工に伴い、日本橋エリア最大級となる多目的ホール（地下 2 階・4 月 3 日）をはじめ、横浜銀行（1 階、2 階・4 月 20 日）などの銀行店舗、新たに整備した広場に独立店舗を構える和紙の老舗はいばら（5 月下旬）、牛タン専門店やフレンチバル、スリランカカレー店といった飲食店舗（地下 1 階・6 月）が順次オープンします。

また、第二期工事では低層の商業施設棟を建設するほか、サンクンガーデンの整備、多言語対応の観光案内所の設置などを予定しており、平成 29 年の全体竣工を目指し、引続き事業を進めてまいります。



<位置図>



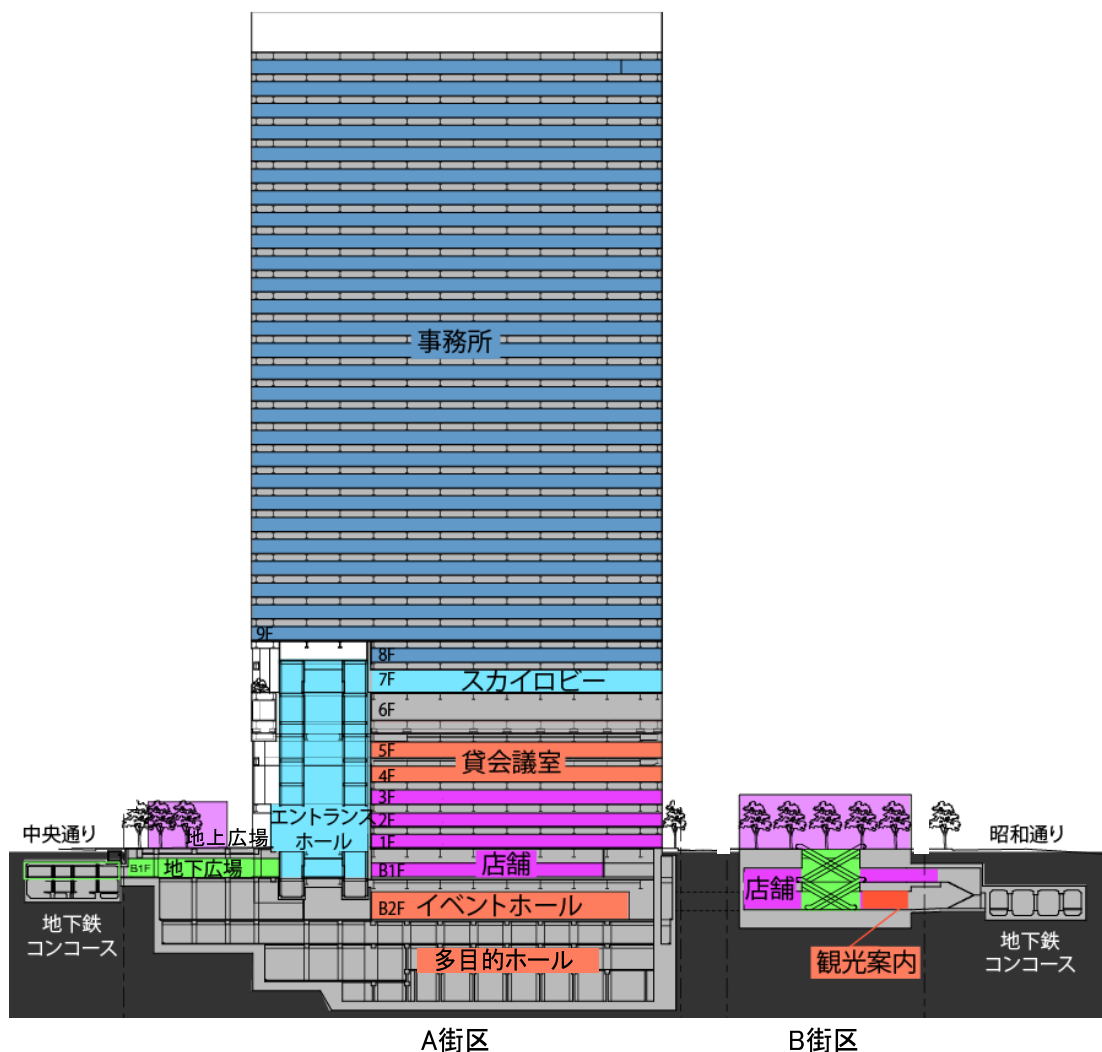
<日本橋交差点から見た建物全景>

平成 27 年 3 月現在

※手前のビルは解体し、二期工事にて低層の商業施設棟を建設する予定です。

◆ 日本橋の新ランドマーク、伝統の継承と進化

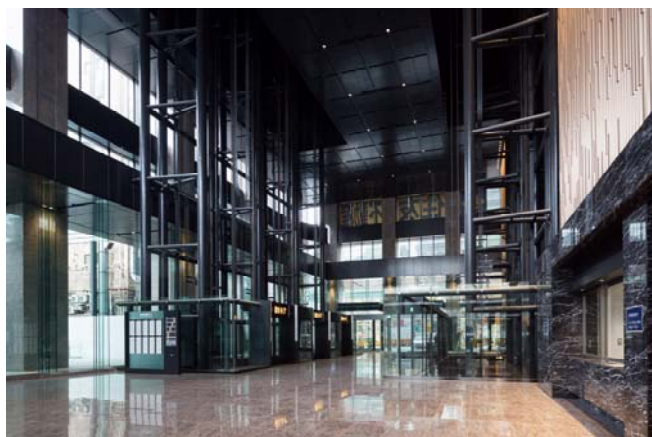
- ・日本橋交差点角のシンボリックな立地。タワー棟は日本橋の伝統と格式を重んじたデザインとし、御影石張りを採用。新たなランドマークとなる地上 35 階建ての超高層ビル。
- ・1 階のエントランスホールは天井高約 17m、四層吹き抜けのグレード感の高いデザイン。
- ・日本橋で創業 200 年、和紙舗「はいばら」が出店。低層階と地下に店舗、多目的ホールや貸会議室などの利便施設、8 階以上にオフィスを配置。
- ・地下鉄銀座線、東西線、浅草線「日本橋」駅直結。「東京」駅八重洲北口徒歩約 6 分の交通利便性。



※A 街区の一部と B 街区の竣工は平成 29 年の予定です。

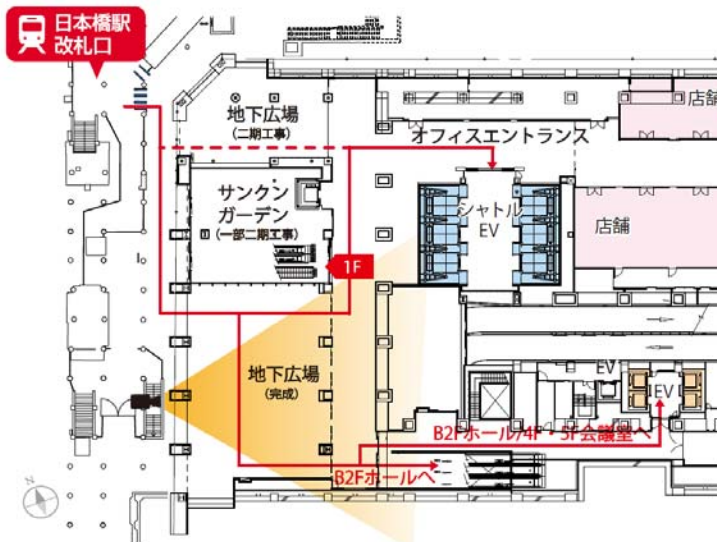


<地上広場と「はいばら」店舗>



<1 階エントランスホール>

◆ 交通結節点機能の強化

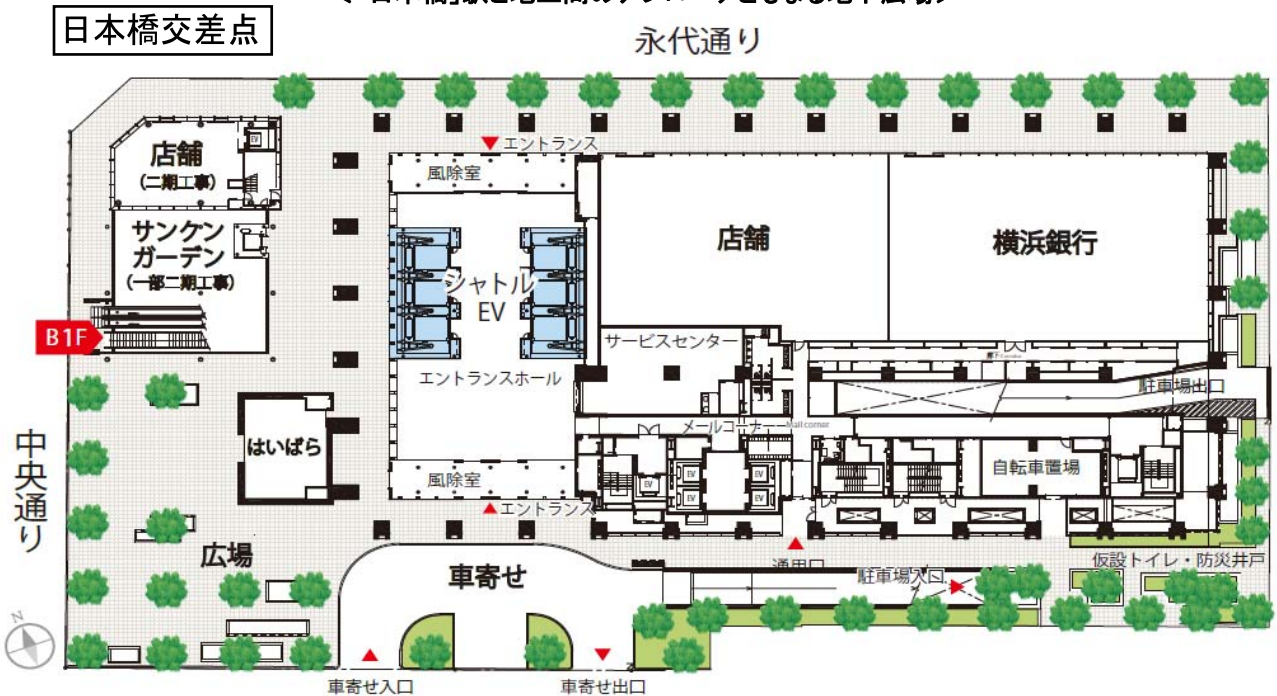


- ・ 駅前にふさわしい玄関口として日本橋交差点に面して約 1,500 m²の広場を創出。
(一部二期工事)
- 地下鉄「日本橋」駅コンコースから連続する地下に、地上広場とエスカレーターでつながり開放感あふれるサンクンガーデン、地下広場を整備。(一部二期工事)
- ・ 建物のセットバックなどによって、道路に沿って安全な歩行者空間を確保。駅と地上間のバリアフリー化を進め、駅利用者や来街者の利便性向上に寄与。(一部二期工事)

<地下1階配置図(A街区)>



＜「日本橋」駅と地上間のアプローチともなる地下広場＞



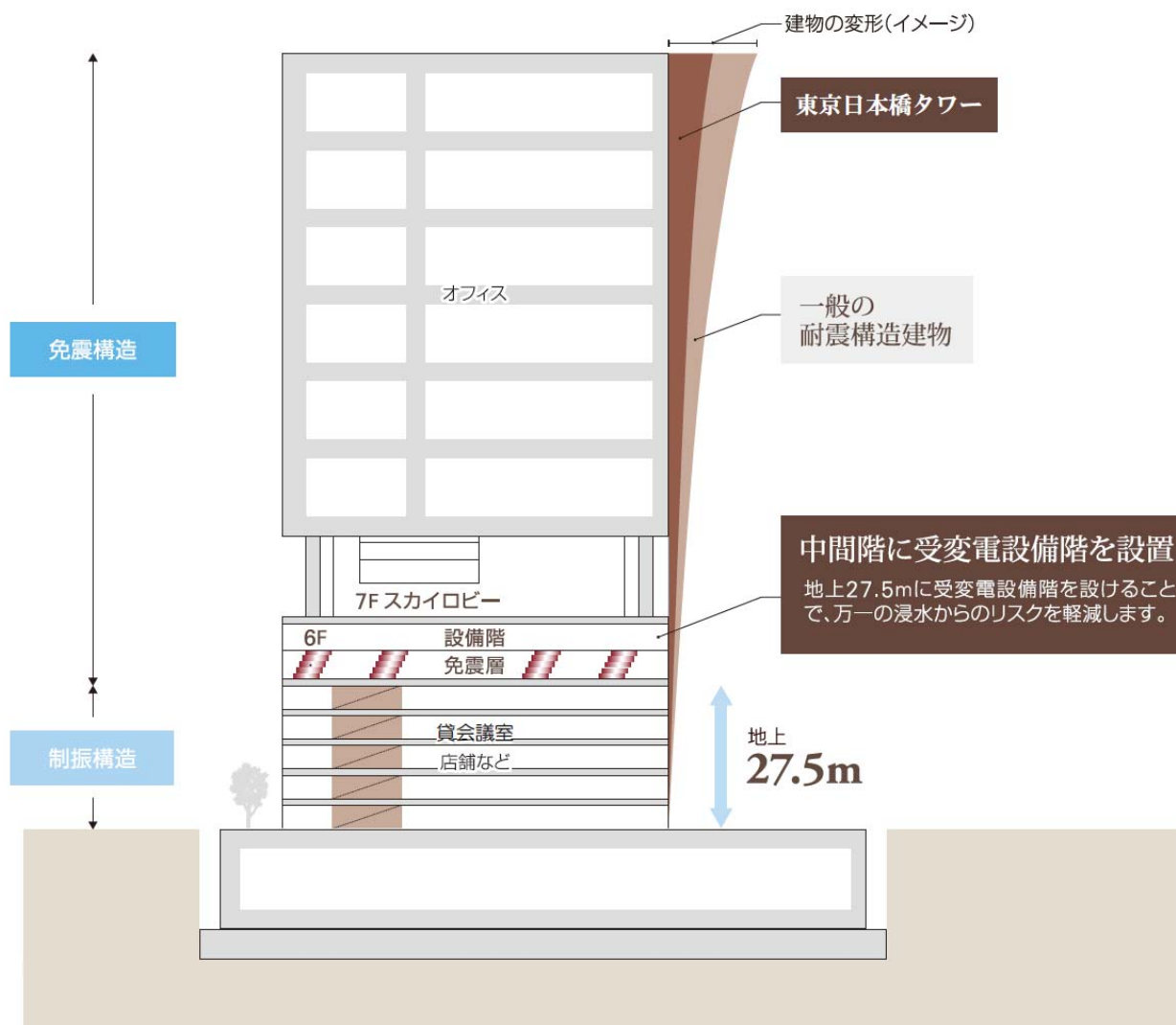
<1 階配置図(A 街区)>

◆ BCP（事業継続計画）対応を強化

- ・タワー棟は地震などの揺れを低減する免震&制振構造。
- ・事故などで本線からの送電がストップしても予備線から受電が可能な2回線受電方式。
- ・発電機は燃料に中圧ガスと重油の両方が利用でき、通常時も非常時に対応可能なデュアル
フューエルガスタービンシステムを採用。

停電時には共用部に加え、貸室内にも電力を供給する72時間対応の非常用発電機を実装。

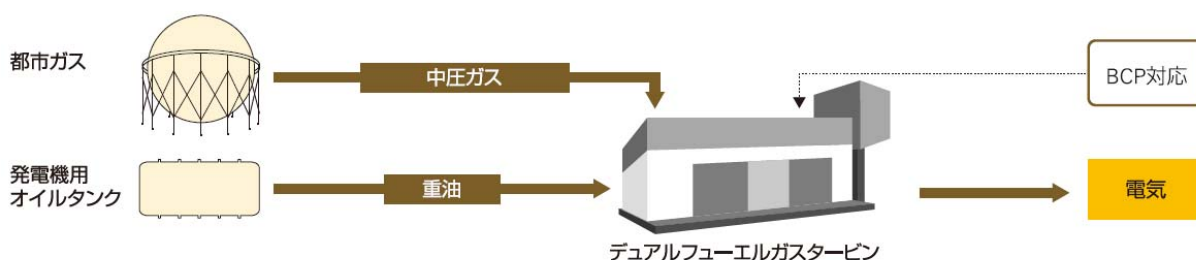
- ・万一の浸水被害から守るため、受変電設備などを地上約27.5mの建物6階に設置。
- ・オフィス階にテナント専用の防災倉庫を設置。



<BCP 対応状況模式図>

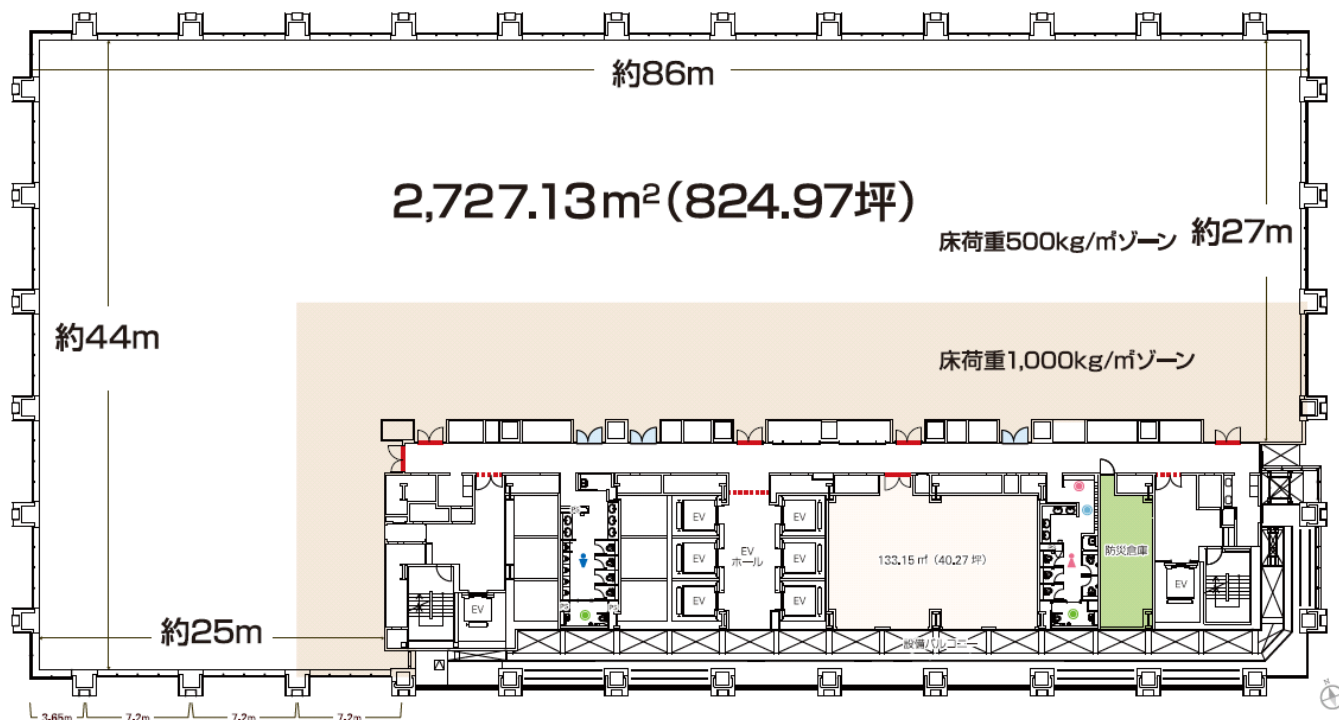
デュアルフューエルガスタービン

発電燃料に、中圧ガスと重油の両方を利用できる発電機で、通常時も停電時も使用することが可能です。



◆ 最先端のオフィススペック

- ・高いレイアウト効率を誇る基準階貸室面積約 825 坪、室内に柱型のない整形無柱空間を実現。
- ・快適なオフィス環境を創出する天井高 3m+フリーアクセスフロア 10cm、1フロア 52 ゾーンの完全個別空調システムを採用。



<基準階貸室平面図(26～28 階)>

- 非接触ICカードシステム実装
- フロアセキュリティ(オプション)
- ☒ 貸室扉増設可能箇所(オプション)
- オストメイト配慮水洗
- パーソナル BOX
- パウダーコーナー



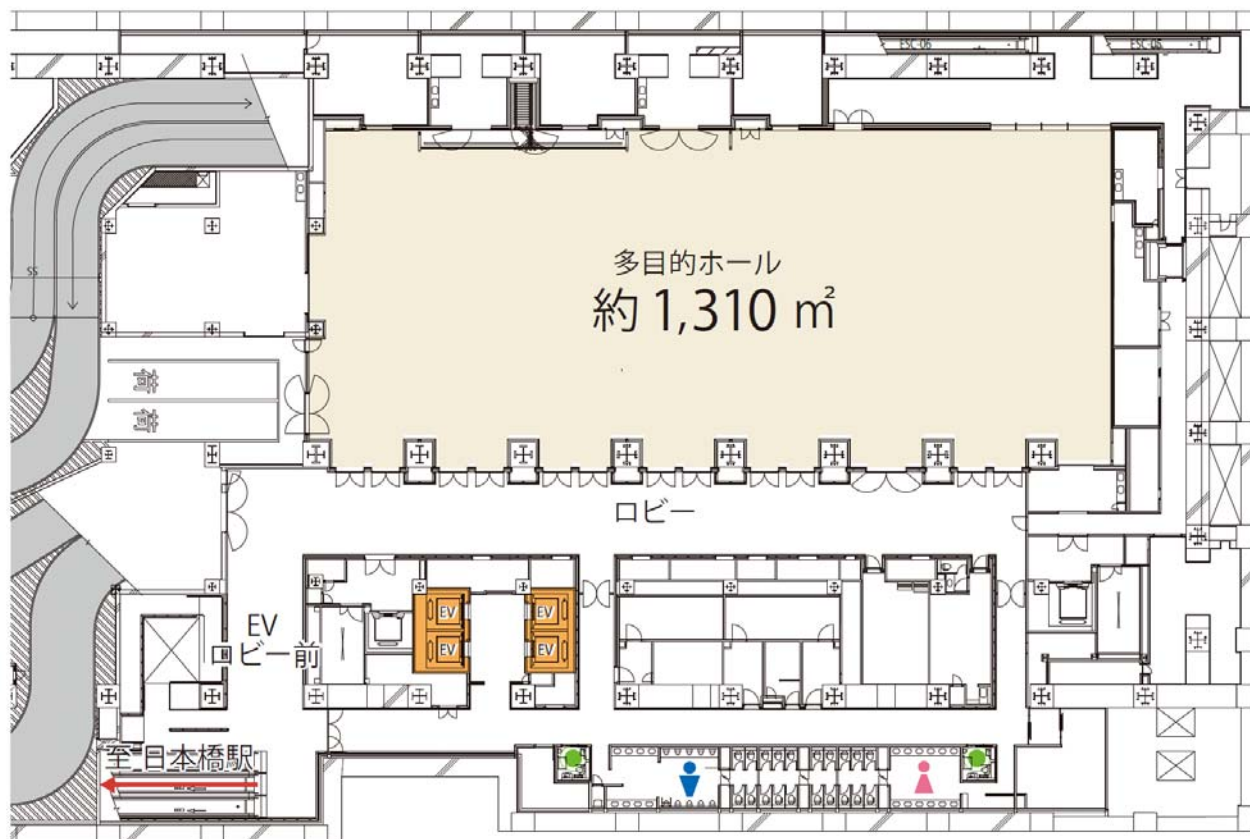
<7 階スカイロビー>

◆ 地域の防災拠点

- ・災害時には日本橋駅前の防災拠点として機能するため、燃料に中圧ガスと重油の両方が利用できるデュアルフューエルガスタービンシステムを採用した非常用発電機による 72 時間分の電源を確保。
- ・防災備蓄倉庫や防災井戸、仮設トイレ設置スペースを整備。
- ・駅前広場を救護センターや物資供給場所として活用。
- ・駅前広場などを災害時には帰宅困難者受入スペースとして運用。

◆ 国際対応力の強化&さらなる賑わいの創出

- ・成田、羽田空港にダイレクトアクセスの都営浅草線「日本橋」駅に直結しており、多言語対応のインフォメーションサービスを提供する観光案内所を設置。(B 街区/二期工事)
 - ・文化の発信、交流の場となる床面積約 1,310 m²、天井高 6m、最大 1,300 人収容可能なエリア最大級の多目的ホール「ベルサール東京日本橋」を地下 2 階に設置。
- 同時通訳機能を備え国際会議にも対応するほか、給排水設備を完備し、飲食・物販など、様々なイベントが開催可能。



<地下 2 階配置図(A 街区)>



<多目的ホール>



<他ホール開催事例>

◆ 事業概要

- 【所在地】 東京都中央区日本橋二丁目7番-1 (A街区)
- 【地域地区】 商業地域／防火地域 日本橋・東京駅前地区地区計画
- 【敷地面積】 8,769.22 m² (約 2,650 坪) A、B 街区合計
- 【区域面積】 約 2.2ha
- 【延床面積】 約 138,000 m² (約 42,000 坪) A、B 街区合計
- 【計画容積】 1,400%
- 【設計】 株式会社日建設計
- 【施工】 株式会社大林組
- 【主要用途】 事務所、店舗、多目的ホール、貸会議室
- 【竣工】 超高層棟：平成 27 年 4 月 1 日／全体竣工：平成 29 年予定
- 【交通】 東京メトロ銀座線・東西線、都営地下鉄浅草線「日本橋」駅直結
「東京」駅八重洲北口徒歩 6 分 ほか

＜本件に関する報道関係者からの問合せ先＞

住友不動産株式会社 広報課 田中 TEL 03-3346-1042

「東京日本橋タワー」公式ホームページ

<http://office.sumitomo-rd.co.jp/nihombashi/index.html>